

## <参考資料>

時系列レイヤについて

e コミマップで利用する時系列レイヤは、OGC の WMS 形式で配信される地図に時間情報を追加して取得を行います。

サーバ側 (e コミマップ等) のタイムゾーンは UTC となります。サーバにリクエストする際の日時が UTC となるため、クライアントの利用するタイムゾーンとの変換が必要になる事があります。

WMS Capabilities の時系列空間情報サンプル

「WMS Capabilities」の「Layer」タグ内の「Dimension」タグ、「Extent」タグに時系列空間情報を記述します。

```
<pre>
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<WMT_MS_Capabilities version="1.1.1">
    .....
    <Layer>
        <Title><![CDATA[時系列]]></Title>
        .....
        <Layer>
            <Name>nhm_snow_0</Name>
            <Title><![CDATA[時系列レイヤ]]></Title>
            .....
            <Dimension name="time" units="ISO8601"/>
            <Extent name="time" default="2014-02-15T15:00:00"
nearestValue="0">2014-02-13T18:05:00Z/2014-02-15T06:00:00Z/PT5M</Extent>
            .....
        </Layer>
    </Layer>
</Capability>
</WMT_MS_Capabilities>
</pre>
```

「2014-02-13T18:05:00Z/2014-02-15T06:00:00Z/PT5M」を分解すると以下になります。

```
<pre>
2014-02-13T18:05:00Z 2014年2月13日18時05分開始
2014-02-15T06:00:00Z 2014年2月15日06時00分時終了
PT5M 5分間隔でデータ更新
</pre>
```

## WMS リクエストの時間情報設定の例

<pre>

時間指定   &TIME=2017-06-19T01:00:00Z

時間範囲指定   &TIME=2017-06-19T01:00:00Z/2017-06-19T02:00:00Z   「/」で区切る事で時間範囲を指定します。

複数指定   &TIME=2017-06-19T01:00:00Z,2017-06-19T01:05:00Z   「,」  
で区切る事で時間を複数指定します。

</pre>